



联合国
粮食及
农业组织

FOOD AND
AGRICULTURE
ORGANIZATION
OF THE
UNITED NATIONS

ORGANISATION
DES NATIONS
UNIES POUR
L'ALIMENTATION
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION
DE LAS NACIONES
UNIDAS PARA
LA AGRICULTURA
Y LA ALIMENTACION

منظمة
الغذية
والزراعة
للأمم
المتحدة

Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101
Facsimile: (045) 222-1103
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

FAO(国際連合食糧農業機関)日本事務所

2011年3月8日

LOJAPR11/11-No.192

プレスリリース

食料価格の上昇に対応する

FAOは各国政府の情報に基づいた政策決定のためのハイレベルセミナーを開催

2011年3月8日、ローマ・バンコク - FAOは8日、現在の食料価格上昇に対応し、FAOが関係者と連携してアフリカ、アジア太平洋、中央アジア、欧州、ラテンアメリカ、近東で連続セミナーを開催し、食料価格上昇に対処するため各国政府が情報に基づいた決定を下す支援をする」と発表した。

FAO食料価格指数によれば、世界的な食料価格は、2月には連続8ヶ月上昇し、砂糖を除き監視しているすべての食料グループの価格が上昇した。2010-2011年の世界的な穀物需給バランスの逼迫の可能性が高い。

セミナーの目的は、前回2007-2008年の食料価格危機の経験の情報交換とFAOが更新した「食料価格上昇に取り組む国家レベルでの政策及び計画的行動ガイド」に取りまとめられている様々な政策手段の是非についてより深く認識することである。

学んだ教訓

「FAOは、各国が政策の選択肢を検討し、状況を悪化させる可能性のある決定をしないようにすることが必要と考えている」と、チャングチュイ・ヘ事務局次長は述べた。「前回の食料危機の間は、輸出規制を課したり買占めをした国があったため、状況は悪化した。」

「各国政府は、貧しい人々への食料価格上昇の影響を緩和し、同時に農業への投資を促進する行動をとることに焦点をあてるべきである」と、彼は加えて述べた。

20カ国の関係省庁（農業、貿易、財務）の官僚、農業団体の代表および民間、地域組織、開発関係者等その他の関係者たちがワークショップに参加する予定である。

アジア開発銀行、アセアン（東南アジア諸国連合）、欧州共同体、南アジア地域協力連合および米国政府のハイレベルの代表が参加する予定である。

FAOのパートナーであるESCAP（国連アジア太平洋経済社会委員会）、UNDP（国連開発計画）、世界食糧計画および日本も参加する予定である。

2日間の各地域セミナーは3月から6月にかけて開催される予定である。最初のセミナーはバンコクで3月9-10日に開催される。

目的

これらのセミナーは、食料価格上昇への対応の様々な政策の選択肢についての認識を高め、各国の事情に適した緊急措置を計画するために行われる。

もう一つの目標は、各国が価格の変動、政策手段とその効果についての情報を監視、更新、共有する手法についてより認識することである。

セミナーの期待される成果は、各国が食料価格上昇の取り組みにより情報に基づいた政策を採用し、開発パートナーたちとの協力と支援の機会についてより深い知識を得ることである。

英文URL：<http://www.fao.org/news/story/en/item/52232/icode/>